



入会のご案内

公益社団法人 日本歯科衛生士会
組織委員会

2019年5月

日本歯科衛生士会とは…

社会に貢献する専門職団体です！

47都道府県歯科衛生士会との連携のもとに、人々の生涯を通じた口腔の健康を支援する専門職の団体として、歯科衛生士の倫理と資質の向上に努め、国民の保健医療福祉の向上に貢献できるよう行動し、活動することを目標としています。歯科衛生士の諸問題は、すべて会が窓口となって、国や地方自治体および関係各方面に働きかけをしています。

あなたの身近なところでも!!

47都道府県歯科衛生士会は、研修会や地域歯科保健活動など、身近で個性的な活動をしています。会の活動に参加し、勉強の場を得ることにより、新しい出会いや豊かな人間関係が広がります。

広い視野を持った活動で 全国の歯科衛生士を支えます！

厚生労働大臣免許となり、歯科保健指導が業務に追加された歯科衛生士法の改正、および修業年限を3年以上とする歯科衛生士学校養成所の指定規則一部改正も、会の働きかけが実を結んだものです。

日本歯科衛生士会のあゆみ

20世紀

- 1948 歯科衛生士法制定・公布
- 1949 歯科衛生士養成始まる
- 1950 日本で最初の歯科衛生士誕生（歯科予防処置の専門職となる）
- 1951 日本歯科衛生士会設立
- 1953 「日本歯科衛生士会会報」第1巻（1号）発行
- 1955 歯科衛生士法一部改正（歯科診療の補助の追加）
- 1966 社団法人日本歯科衛生士会設立
- 1972 「日衛だより」第1号の発行 日本歯科衛生士会学術誌創刊
- 1973 日本歯科衛生士会初の学術集会開催
- 1981 「歯科衛生士憲章」制定 日本歯科衛生士会学術大会開催
（学術集会の名称変更）
- 1983 歯科衛生士学校養成所指定規則の改正、2年制教育始まる
- 1989 歯科衛生士法一部改正（厚生大臣免許、歯科保健指導の追加）
- 1992 第1回全国統一歯科衛生士試験の実施

日本歯科衛生士会のあゆみ

21世紀

- 2004 4年制大学の歯科衛生士教育始まる
- 2005 歯科衛生士学校養成所指定規則の改正、3年制教育始まる
- 2006 日本歯科衛生学会設立
- 2008 認定歯科衛生士制度が始まる
- 2009 第3次生涯研修制度始まる、認定歯科衛生士が誕生
歯科衛生士法一部改正（歯科衛生士試験名称を歯科衛生士国家試験とする）
- 2010 歯科衛生士法施行規則一部改正（国家試験科目の改正）
- 2011 歯科口腔保健の推進に関する法律の公布・施行
- 2012 公益社団法人日本歯科衛生士会設立 歯科衛生士のあゆみ・60年史発行
- 2014 歯科衛生士法一部改正（法第2条第1項の改正及び第13条の5追加）
- 2016 第4次生涯研修制度始まる、認定分野Aは全5コースとなる
- 2017 「歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会」が始まる
- 2019 第5次生涯研修制度始まる、eラーニング研修が開始

就業歯科衛生士数の推移（1958－2016）と法制度の変遷

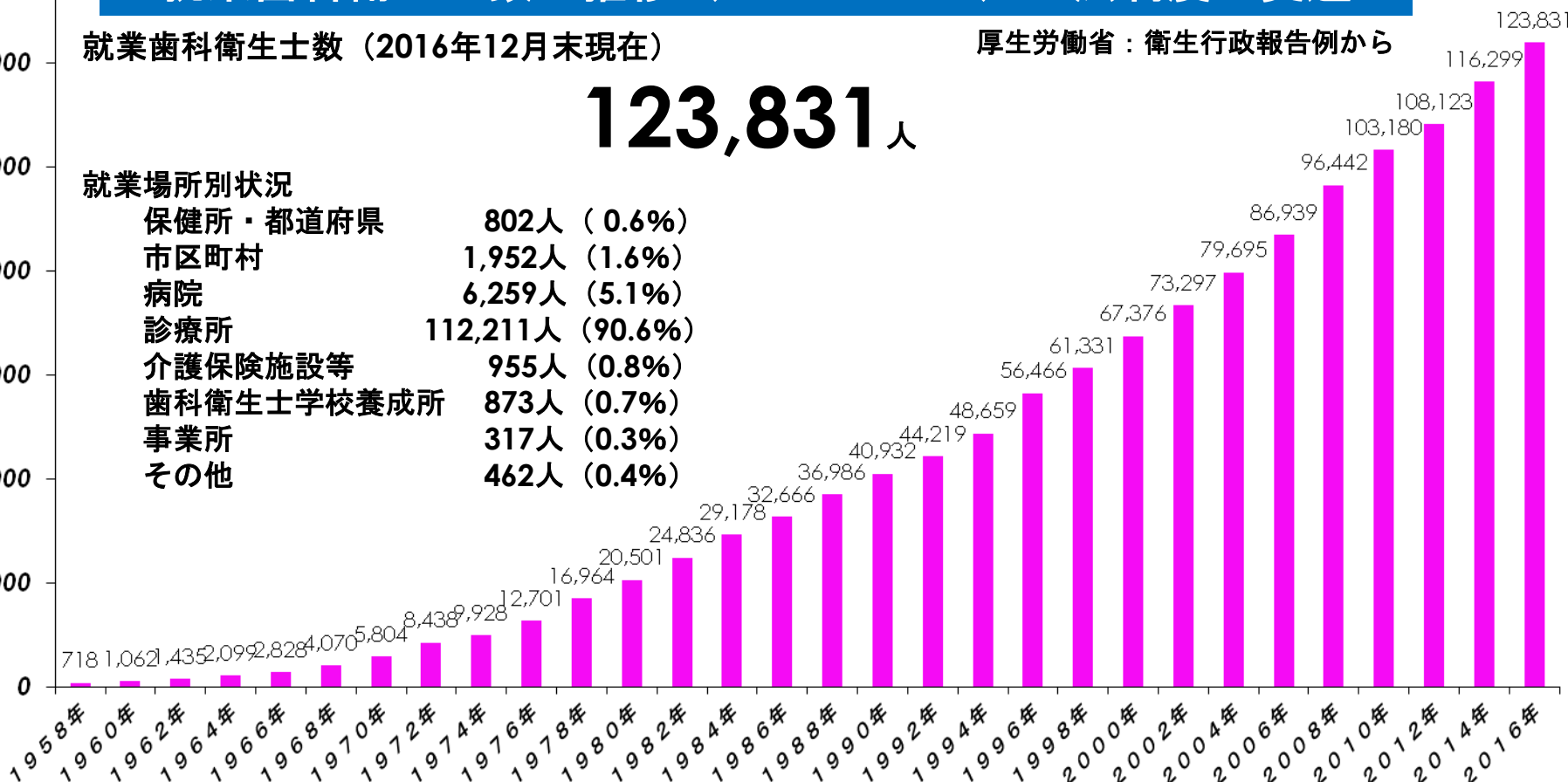
就業歯科衛生士数（2016年12月末現在）

厚生労働省：衛生行政報告例から

123,831人

就業場所別状況

保健所・都道府県	802人（0.6%）
市区町村	1,952人（1.6%）
病院	6,259人（5.1%）
診療所	112,211人（90.6%）
介護保険施設等	955人（0.8%）
歯科衛生士学校養成所	873人（0.7%）
事業所	317人（0.3%）
その他	462人（0.4%）



予防処置（保健所）
法制定 1948年

歯科診療補助（病院・診療所）
法改正 1955年

国民皆保険 1961年

歯科臨床の場の
歯科衛生士の増加



2年制教育
教育年限延長 1984年

厚生大臣免許・歯科保健指導
法改正 1989年

老人保健事業 1991年
健康教育・健康相談・訪問指導

在宅歯科医療
訪問歯科衛生指導

医療保険 1994年

歯科衛生実地指導
医療保険 1997年

介護保険制度 2000年

健康増進法 2002年

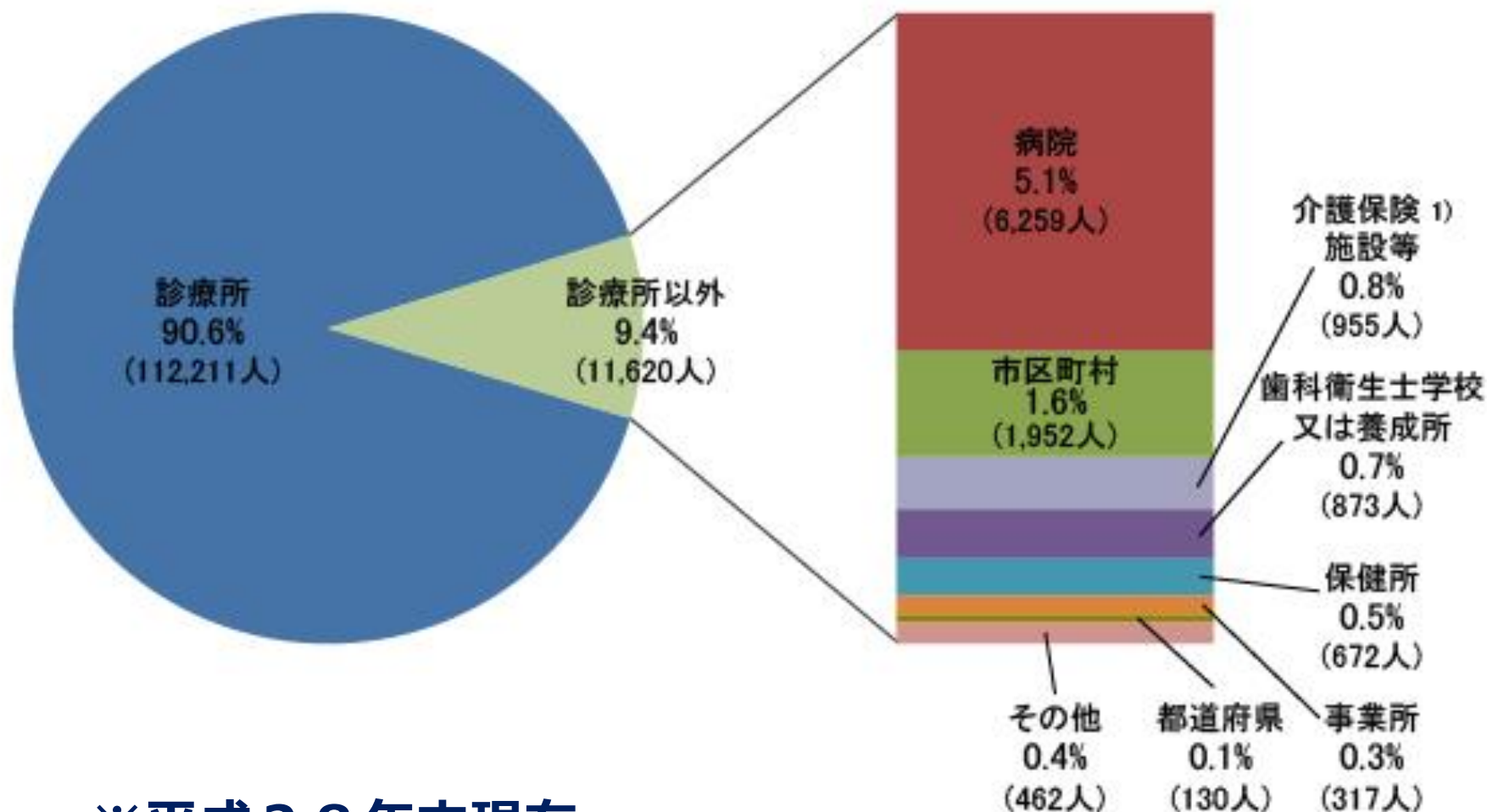
3年教育・4年制大学
教育年限延長 2004年

歯科口腔保健法 2011年

医療保険・周術期口腔機能管理
医科歯科連携 2012年

他
予防処置の実施「指導の下に」
法改正 2014年

就業場所別にみた歯科衛生士数



※平成28年末現在

日本歯科衛生士会の会員になると…

参加できます！

- ・ 生涯研修
(専門研修・認定歯科衛生士セミナー)
- ・ 日本歯科衛生学会学術大会
- ・ 歯科衛生国際シンポジウム

会員専用ページを持てます！

- ・ 研修会情報のメール受信
- ・ 自分の研修履歴および取得単位を確認できます
- ・ 各種資料のダウンロード

お届けします！

- ・ 機関紙「歯科衛生だより」年6回
- ・ 日本歯科衛生学会雑誌・年2回
- ・ 歯科衛生士手帳・年1回

助け合い制度があります！

- ・ 業務上の事故やトラブルに対する「歯科衛生士賠償責任保険」に加入できます
- ・ 災害・入院時に見舞金が
給付されます

日本歯科衛生学会



歯科衛生の実践に根ざした
学術研究の振興に努め、
人々の健康と福祉に貢献
することを目的に、

歯科衛生業務の実践者ならびに教育・指導者の
学術研究の場として、日本歯科衛生士会が
設立した学会です。



日本歯科衛生学会雑誌（年2回配布）

- ※学会雑誌に論文を投稿できます
- ※学会雑誌が配布されます（年2回）
- ※学術大会の参加費は、
会員特典となります

日本歯科衛生学会 第14回学術大会

2019年9月14日（土）～16日（月・祝）

開催地

愛知県

会場
ウインクあいち

演題応募要領

2019年2月発行学会雑誌等
をご参照ください

演題受付期間

2019年3月1日（金）～4月15日（月）

輝く歯科衛生士のキャリアアップ

生涯研修制度

日本歯科衛生士会では、社会ニーズの変化に応じ歯科衛生業務の質の向上を図り、国民の保健、医療、福祉の増進に寄与することを目的に専門研修と認定研修を開催しています。



専門研修

1. 基本研修（集合型研修・eラーニング研修を含む）

A 臨床研修コース

a 歯周治療の基本技術

b 摂食嚥下機能療法の基本技術

B リフレッシュコース

a 幼児・学童期歯科保健

b 成人期歯科保健

c 高齢者歯科保健

d 障害者歯科保健

e 歯科薬品・歯科材料の取扱い方

f 医療面接

g 口腔機能低下症

h 災害支援活動

i 歯科衛生ケアプロセス（歯科衛生過程）

j トピックス・その他

C 特定コース

a 歯科診療所等における医療安全管理対策

b 周術期等の口腔機能管理

c 在宅歯科医療の基礎

2. 特別研修

3. 指定研修

認定研修

認定歯科衛生士
審査会を経て、
認定歯科衛生士
名簿に登録

1. 認定分野 A

※専門研修で一定単位を取得後のステップアップ

- ・生活習慣病予防
(特定保健指導-食生活改善指導担当者研修)
- ・摂食嚥下リハビリテーション
- ・在宅療養指導・口腔機能管理
- ・糖尿病予防指導
- ・医科歯科連携・口腔機能管理

2. 認定分野 B

※本会が指定・委託した専門学会等の一定基準を
満たし書類審査や試験に合格後のステップアップ

- ・障害者歯科 ・老年歯科
- ・地域歯科保健 ・口腔保健管理

3. 認定分野 C

※上記の認定分野 A または認定分野 B のうち 1 分野以上を
もち、本会が主催する指導者等講習会を修了して、
指導力・支援力を修得 ⇒ サポート力 (りよく) アップ

- ・研修指導者・臨床実地指導者

認定歯科衛生士

『歯科衛生士の専門性』を高める

認定歯科衛生士セミナー



糖尿病予防指導コース



摂食嚥下リハビリテーションコース

世界の歯科衛生士との交流



第20回歯科衛生国際シンポジウム 2016年バーゼル（スイス連邦）

**国際歯科衛生士連盟（IFDH）は
約30か国が加盟しています
日本歯科衛生士会も加盟し
国際交流を深めています**

第21回 歯科衛生国際シンポジウム

ブリスベン

約30か国が加盟して
2年に1度、
国際シンポジウムが
開催されます

開催地
オーストラリア

2019年8月15日 ~ 8月17日

卒業後の継続的な学習が大切です

「継続学習」で

活躍する歯科衛生士に!

歯科衛生士は一生の仕事

あなたの入会を待っています

歯科衛生士の発展・向上を支えるのは

『**歯科衛生士会**』です！

あなたのデビューから復職まで

歯科衛生士会がサポート

入会の申し込みは… 簡単 4 STEP!

Step 1

ホームページから簡単申込！

入会申込フォームに入力します

Step 2

**都道府県歯科衛生士会から
必要な書類が送付されます**

Step 3

入会金・会費などを支払います

Step 4

入会完了！

会員証が届きます

※学生会員は在籍している養成機関で手続きできます。

詳しくはホームページをチェック!

日本歯科衛生士会

検索

